

## 元内閣官房副長官補が語る！

# 歯止めなき派兵と日本の命運

政府は5月15日、歴代政権が憲法9条下で禁じていた集団的自衛権の行使容認を柱とする安全保障関連法案を国会に提出しました。安倍首相は「厳格な歯止めを法律に定めた」「米国の戦争に巻き込まれることは絶対はない」と強弁していますが、本当でしょうか。

講師の柳澤氏は、小泉政権から麻生政権までの6年間、内閣官房の危機管理・安全保障を担当する官房副長官補を務められました。アメリカからの自衛隊イラ

ク派遣要請に苦慮しながら、非戦闘地域における人道支援とインフラ整備に徹しました。その経験から、当時の政府中枢にいた者の使命として、戦争につながる欠陥だらけの安法制を許すわけにはいかない、と積極的に発言されています。

平和国家日本が失われようとしている今、安法制の何が問題なのか、そしてこの国のかたちはどうあるべきなのかを考える機会になればと思います。

講師

元内閣官房副長官補、NPO法人国際地政学研究所理事長

やなぎさわ きょうじ

柳澤 協二 氏



とき

2015年 6月 23日(火)

午後7時15分～9時15分

ところ

ホテルグランテラス富山 3F 薫風の間  
(旧名鉄トヤマホテル) 富山市桜橋通り2-28

※駐車場は河口ビル駐車場が便利です(駐車料金は各自でご負担ください)。

興味のある方どなたでも  
参加できます(参加無料)

1946年生まれ。1970年東京大学法学部卒業後、防衛庁(当時)に入庁。防衛審議官、防衛庁長官官房長、防衛研究所所長などを歴任。2004年から2009年まで小泉・安倍・福田・麻生の4つの政権で内閣官房副長官補(安全保障・危機管理担当)。現在、NPO法人国際地政学研究所理事長。

著書に『亡国の安保政策—安倍政権と「積極的平和主義」の罫』(岩波書店)、『亡国の集団的自衛権』(集英社新書)ほか。

主催 富山県保険医協会

申込書

協会FAX 076-442-3033

講師への質問がありましたらお書きください。

申込者氏名 (医療機関名等)	参加 人数	人
-------------------	----------	---

※会場準備のため、できるだけ事前のお申込をお願いします。

富山県保険医協会

〒930-0004 富山市桜橋通り6-13 フコクビル11F  
TEL 076-442-8000 MAIL toyama-hok@doc-net.or.jp